

横浜市立大学デザインワークショップ2025

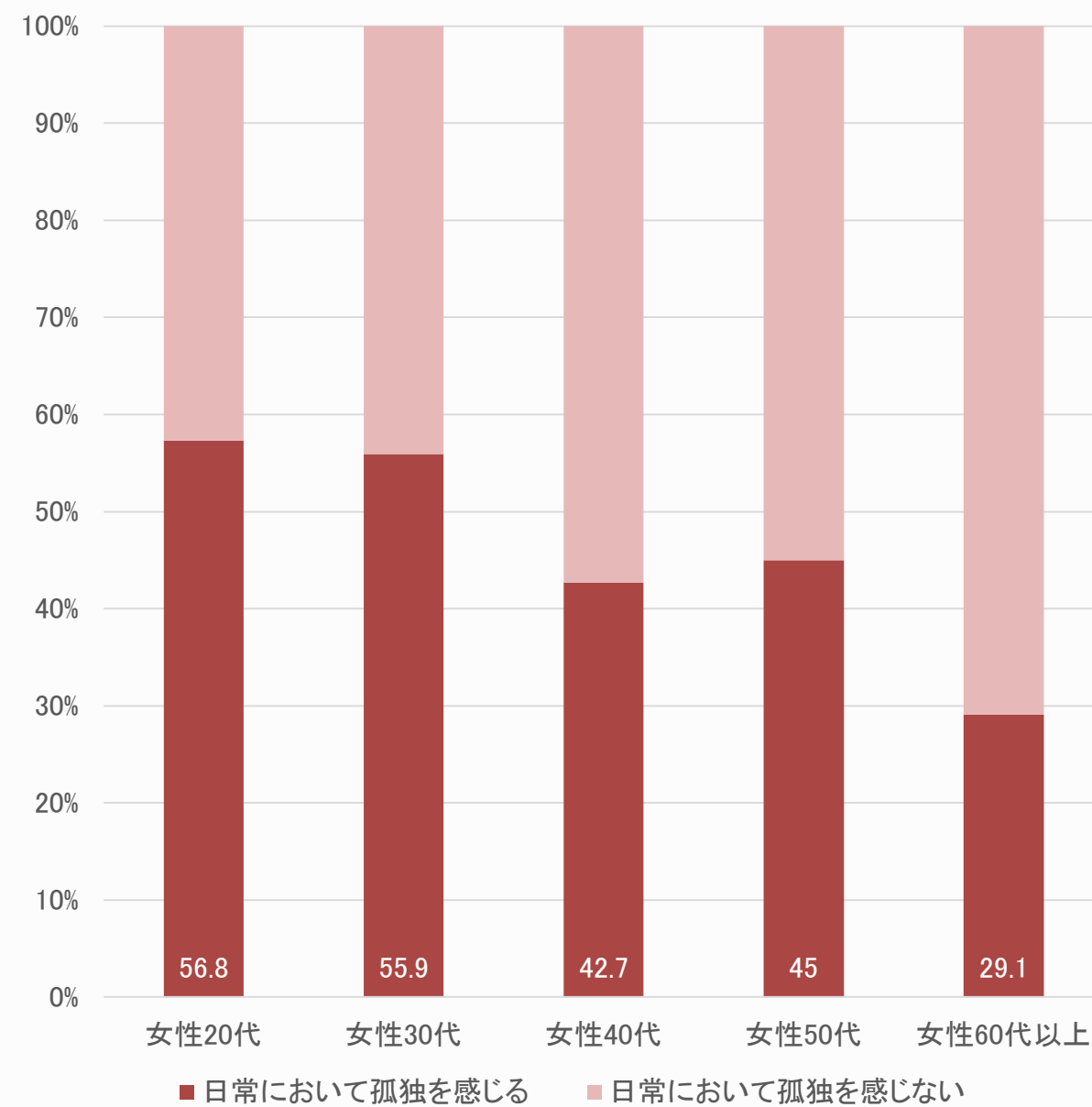
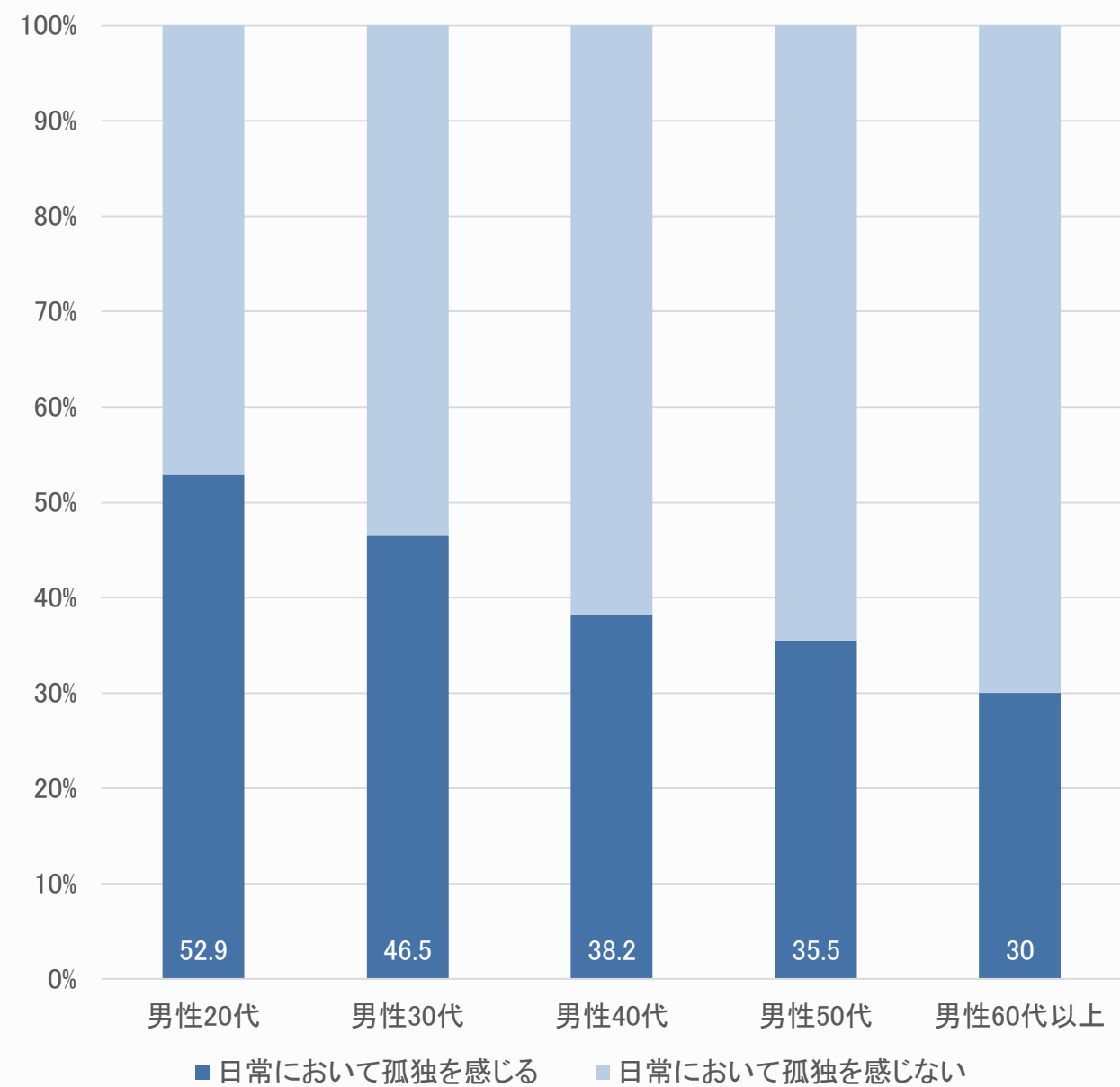
三浦市における 若者の二拠点生活を実現するための 取り組みを提案しよう

横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 平塚凜, 渡邊夏季

地方移住への関心が高まる若者の動向をふまえ、
三浦市での新しい暮らし方について考え、
行政に提案する取り組みを考えます



孤独な若者の都市生活



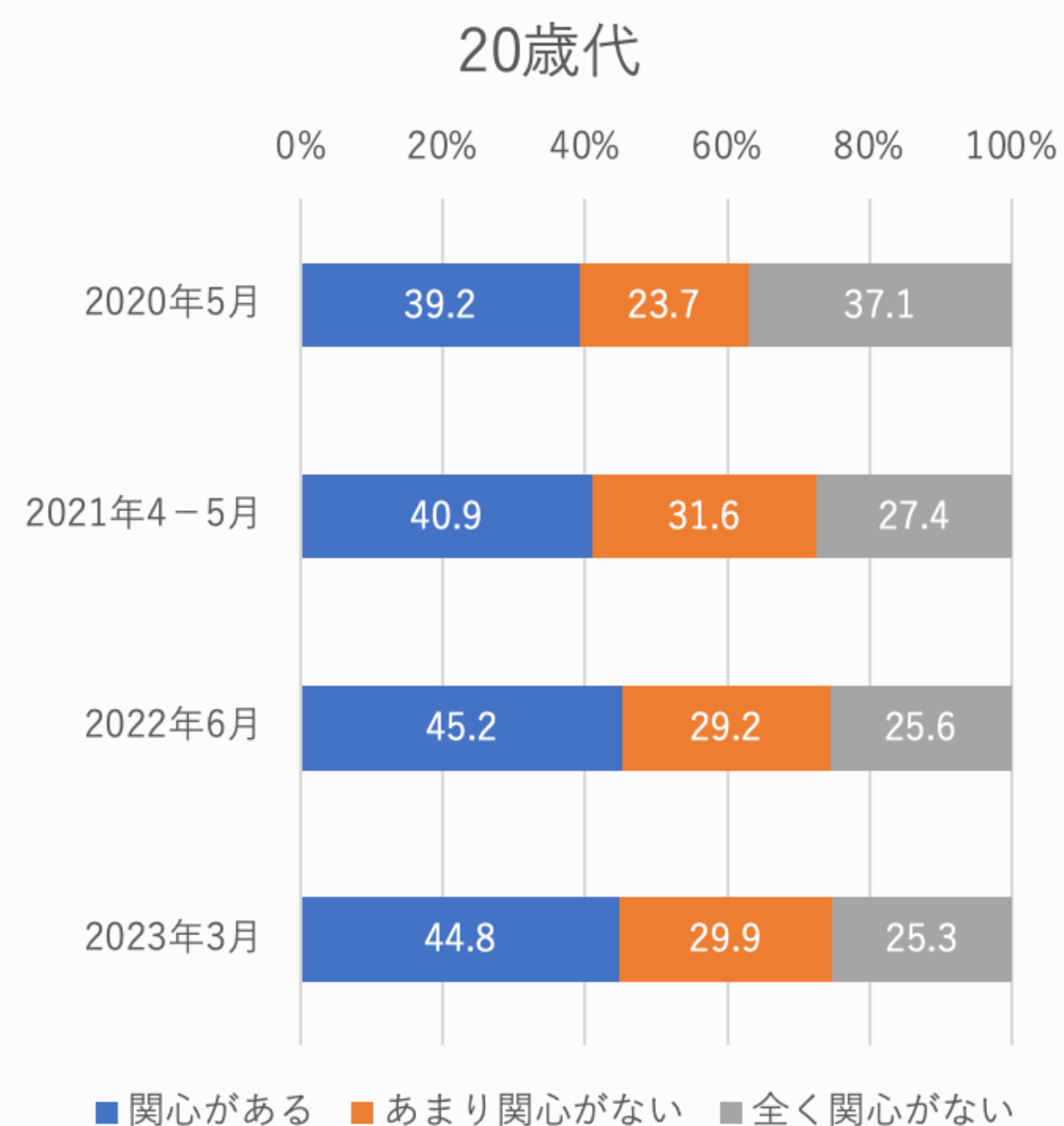
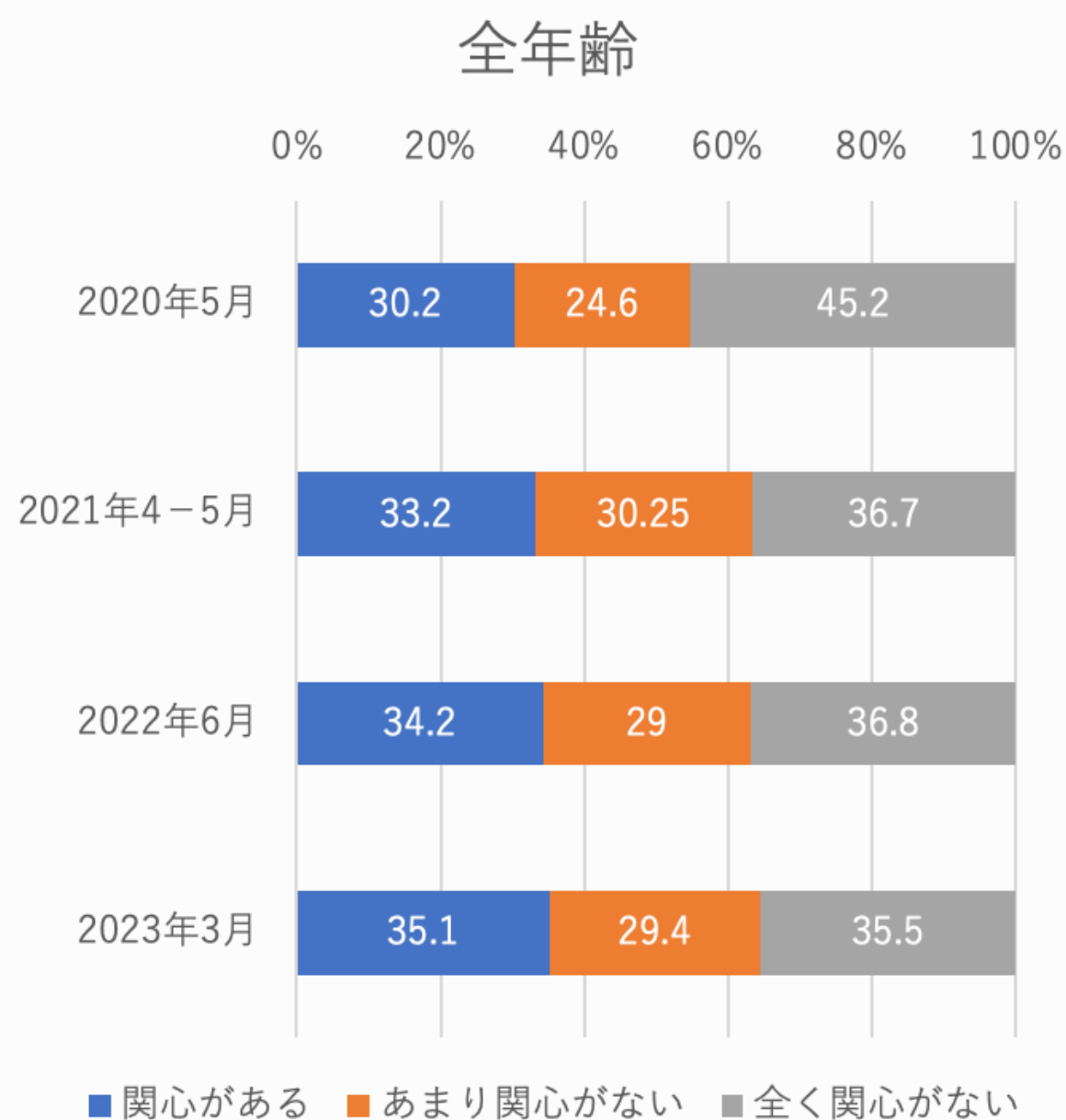
男女ともに、20～30代の若年層において約半数が「孤独」を感じている

背景には、家族や友人との距離感、社会とのつながりの希薄さ、都市の個人主義や過酷な労働環境が挙げられる

N=2,204 NRI 2023.『新型コロナウイルス流行に係る生活の変化と孤独に関する調査』

地方に目を向ける若者たち

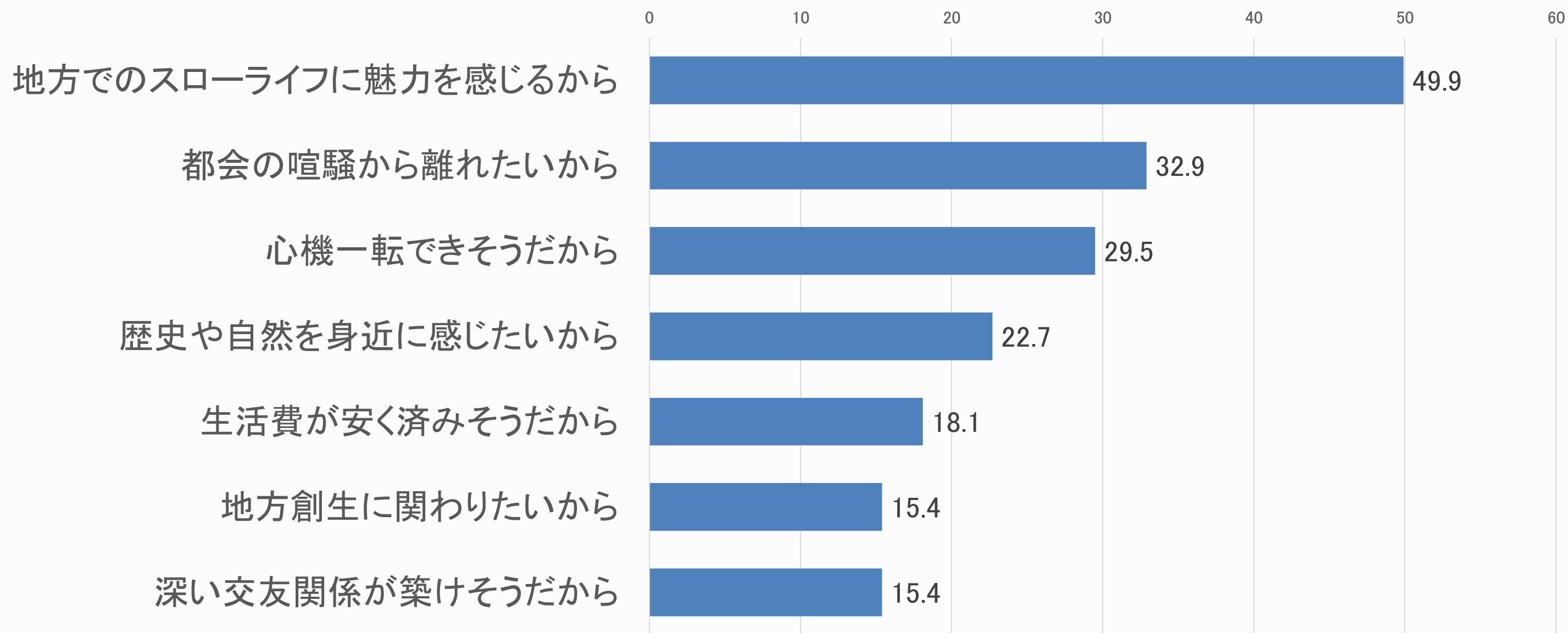
コロナ禍以降、東京圏在住者の地方移住の関心が
高く、特に20歳代で45%と高い割合を示す



N=10,056 内閣府2023.『新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に対する調査』

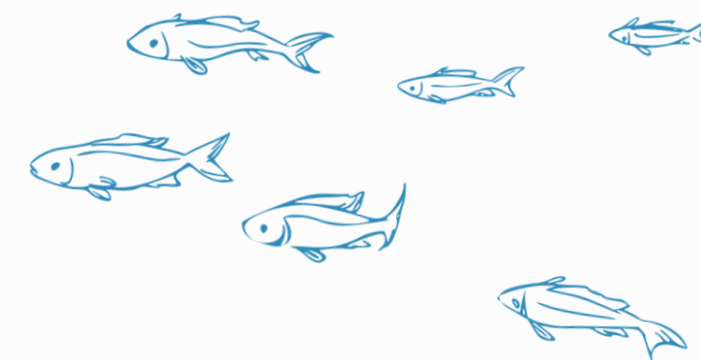
移住関心理由

「なぜ地方で暮らすことに憧れているのですか？」(%)



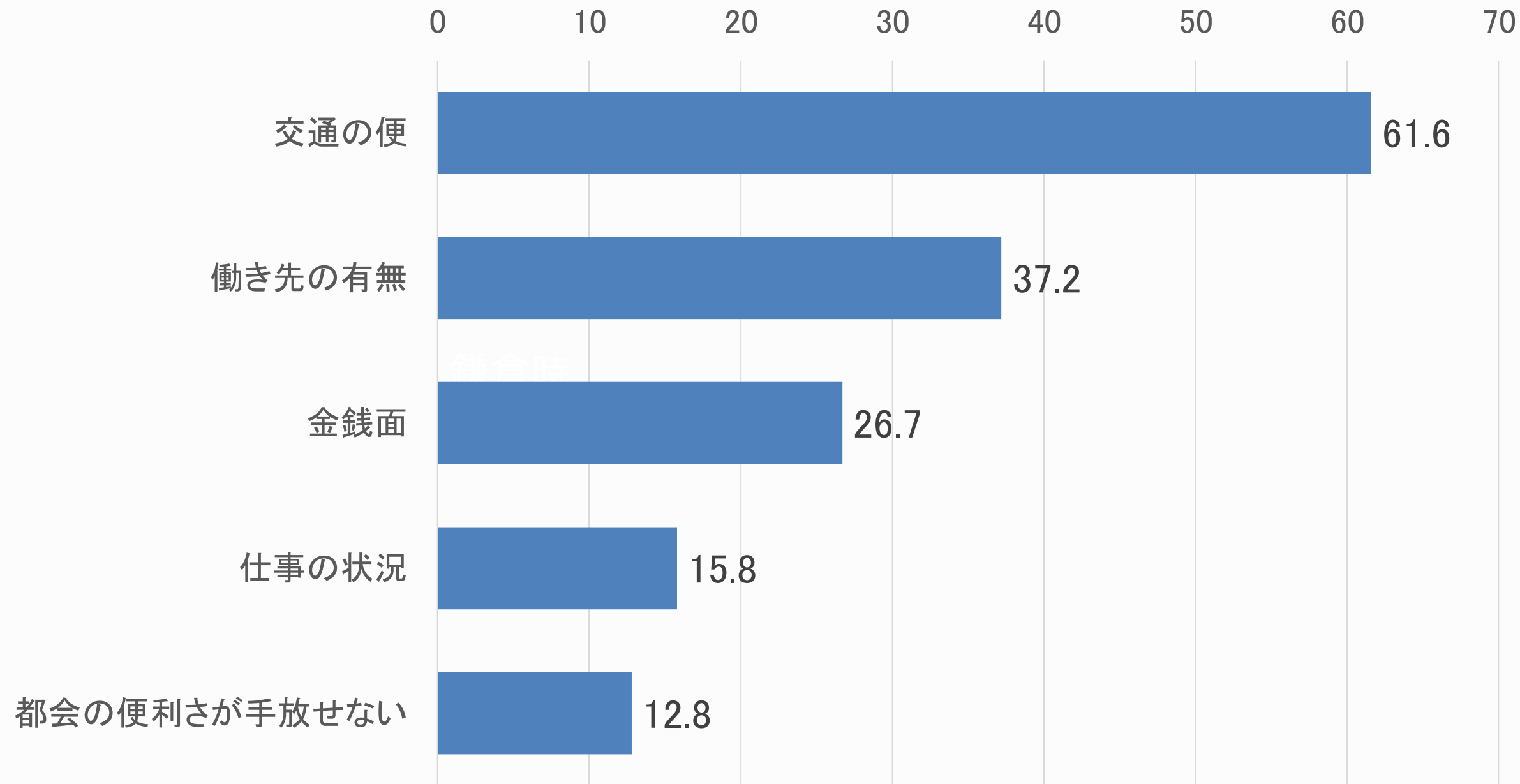
東京圏に住む15歳～29歳のうち、「地方暮らしに憧れを持っている」と回答した45.6%を対象(N=441)
トラストバンク地方創生ラボ 2024.『東京圏の若者の地方に対する意識調査2024』

→都会暮らしの疲れが地方への憧れに



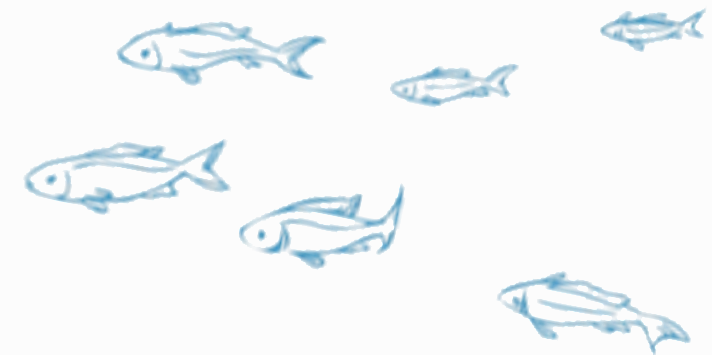
地方移住の障壁

「地方での生活に憧れているのに実際に暮らそうと思えない理由には、何の関係ありますか？」(%)

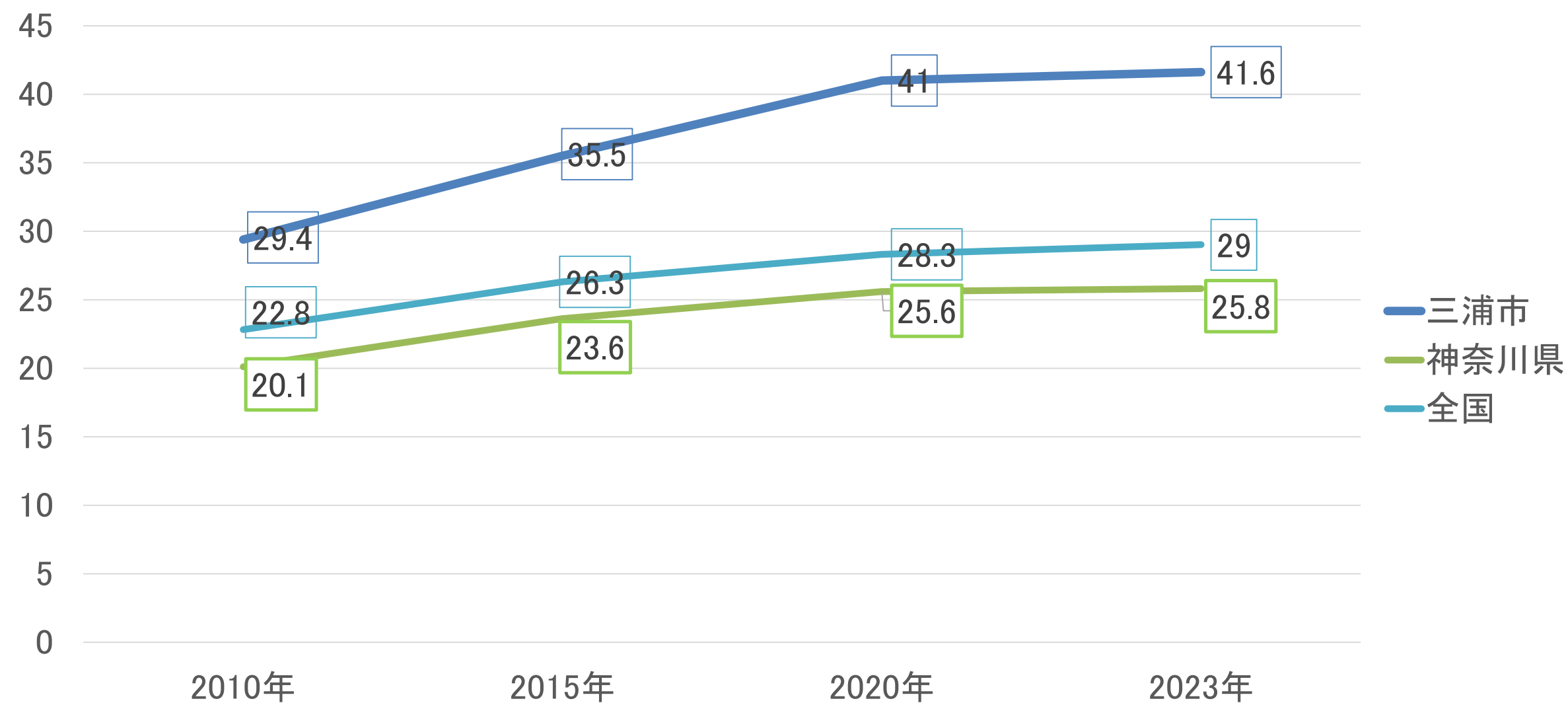


「地方への暮らしに憧れているが、実際に暮らそうとは思わない・どちらとも言えない」と回答した人を対象 (N=86)
トラストバンク地方創生ラボ 2024.『東京圏の若者の地方に対する意識調査2024』

生活や仕事の安定、利便性を手放すことへの不安が大きい
→「二拠点生活」という選択肢



地域課題：三浦市の高齢化率推移



三浦市 2024. 『第9期三浦市高齢者保健福祉計画 三浦市介護保険事業計画』

三浦市の高齢化率は神奈川県・全国の数値を大きく上回っており、また年々増加している

→地域活力の低下という地域課題に直面している

三浦市という舞台

地域資源の豊かさと都心からの距離→「二拠点生活」に最適



交通利便性

東京から約**65**キロ
電車:約**1**時間**15**分 **740**円(品川～三崎口)
車:約**1**時間**30**分(新宿～三崎口)

さくらツーリスト株式会社HP



豊かな自然

三方を海に囲まれ、
温暖な気候と美しい景観が魅力
城ヶ崎公園HP



地域資源

一次産業が身近で体験しやすく、
空き家バンクが整備されている
京急電鉄「みさきまぐろきっぷ」HP

三浦市でできること

海でできること

ダイビング シュノーケリング SUP
ビーチBBQ ビーチヨガ

アクティビティ

サイクリング ホーストレッキング

漁業に関連した体験

タコ漁体験 漁師鍋づくり体験 ところてん作り
マグロのカブト焼き 大漁旗染付体験

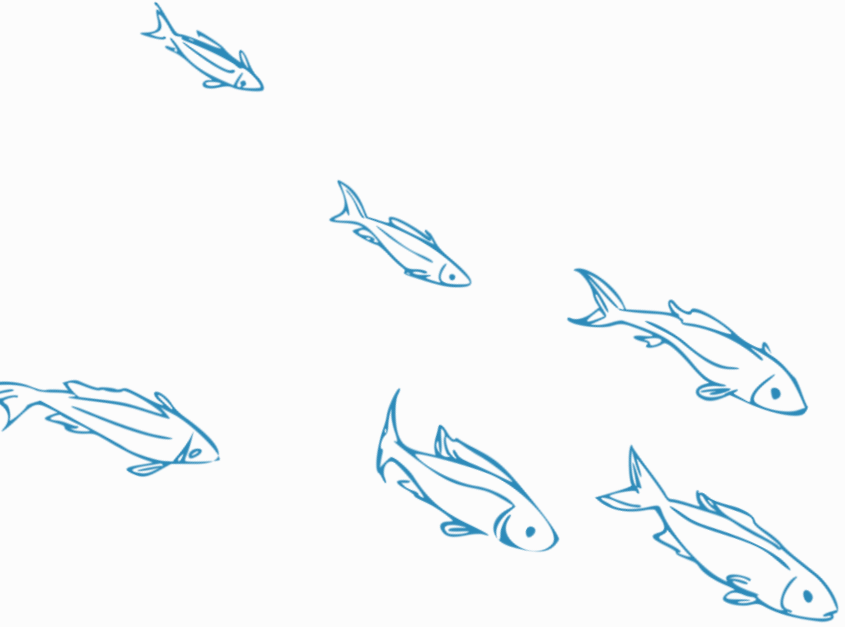


三浦市の立地と比較



三浦市の立地と比較

三浦市の立地と比較

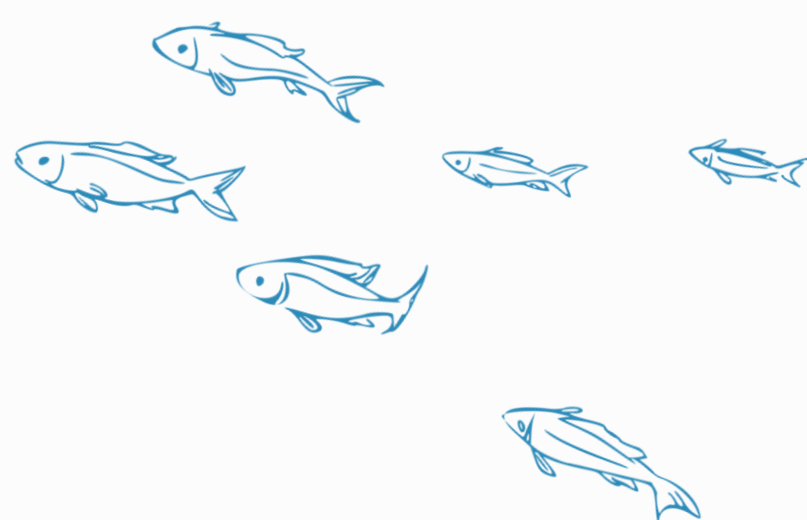


両者を繋ぐ行政

若者：自分らしいライフスタイルを実現できる
「三浦市での二拠点生活」という選択肢の提示

地域住民：将来的な担い手や協働のきっかけを創出し、
持続可能な地域づくりに寄与する

行政が媒介することによって、
地域住民と若者の双方にとって
お互いの利益となる取り組みを提案する



ワークショッップのアイデア

行政だからこそ、
利益に左右されない公共性
公共インフラの活用
中長期的な取組みが可能に

まずは自由に、「あったらいいな」から発想してみる

駅から
アクセスしやすく
してほしい

波の音を聞きながら
作業したい

地元の人と
話してみたい

農作業や畑仕事を
やってみたい

タイムスケジュール

10:00-10:30 趣旨説明・データ共有

10:30-11:00 【ペルソナ設定】二拠点生活を検討する若者像(年齢、職業、価値観、
ライフスタイル)を具体的に共有する

11:00-12:00 【KJ法】二拠点生活に対する懸念点や期待を整理する

12:00-13:00 昼休憩

13:00-15:00 【カスタマージャーニーマップ】ペルソナが二拠点生活を始めるまでの
プロセス(関心→情報収集→体験→定着)を時系列で整理し、
各ステップでの感情・課題・必要な支援を視覚化する

15:00-16:00 支援の実行に必要な取り組み整理

16:00-16:45 発表資料作成

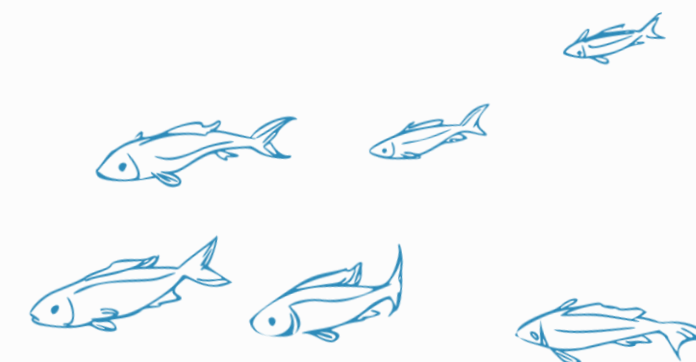
16:45 終了

ペルソナ例

性別	男性
年齢	25歳
家族構成	独身
出身	東京圏
職業	会社員 (週の半数がリモートワーク)
趣味	アウトドア (時間がなく、最近はできていない)
地方移住への関心	ある



参考文献



NRI 2023. 今こそ企業が向き合うべき「若者の孤独」

NRI 2023. 『新型コロナウイルス流行に係る生活の変化と孤独に関する調査』

https://www.nri.com/jp/knowledge/report/20210712_1.html

内閣府 2023. 『新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査』

<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/index.html>

トラストバンク地方創生ラボ 2024. 『東京圏の若者の地方に対する意識調査2024』

<https://www.trustbank.co.jp/newsroom/newsrelease/press841>

三浦市 2024. 『第9期三浦市高齢者保健福祉計画 三浦市介護保険事業計画』

https://www.city.miura.kanagawa.jp/soshiki/koreikaigoka/koreikaigoka_korei/hokenhukusikeikaku_kaigohokenkeikaku/10309.html

三浦市観光協会 <https://miura-info.ne.jp/>